



帯広市立豊成小学校

キャリア通信

夢をはぐくむキャリア教育



～ 大好きな自分 ないたい自分 みんなと生きる自分 ～

平成 26 年 10 月 14 日 No. 12

みんなと生きる自分

「はあとふる集会」

規範意識を高めるために みんなで考える集会

人間関係
社会形成能力
の育成

子ども達の規範意識の低さが様々な調査から明らかになっています。本校も同様の傾向が時として見受けられています。子どもは未発達ですから、私たち大人が正しい判断ができるように知識を与え、それを基に行動できる実践力を育成していくことが大切です。今回の取組ではそうした指導と支援を、学級ごとの道徳の時間と全校集会を組み合わせを行い、子ども達に積極的にはたらきかけました。

これは、キャリア教育の側面から見ると、社会の中の一員であることの理解を促し、他者とのつながりを意識できる社会の形成者を育成する学習と言えます。

STEP 1 ルールについて考える (学級での道徳)



「ルールを守る」ことは、最低限の規範意識をもたせることがねらいです。資料を使いながらルールはなぜ守らなければならないか考えました。4-2の秋元先生は、自作の資料を使ってわかりやすく指導されています。



ルールを守る 実践力UP (全校集会)



歩道にボールが落ちている場面から、ルールに基づくどんな行動が大切なのか考えました。つい遊んでしまいたくなる行動にブレーキをかけ、何をすべきなのか意見を出し合いました。



「やる」「やめる」の2つのスイッチが心の中にあることをカードを使って「見える化」しました。例に出した行動はやるべきかやめるべきか、カードを挙げて考えました。



震災で物資支給の際に並ぶ人々が、大変な中でもルールを守る姿を手本に、「こんな日本人の一人になりましょう!」と実践力の意欲化を図りました。

～資料 「わたしたちの道徳」 中学年より～

STEP 2 マナーについて考える（学級での道徳）



学級ごとに、「マナーを守る」4-（1）について、学習しました。前の週に学習した「ルールを守る」と比べて、より相手を意識した行動が必要だということを理解する時間でした。みんなが気持ちよく過ごせることが大切だと学びました。

マナーを守る 実践力UP（全校集会）



集会の進行は、6年生の代表委員。豊成子ども憲章と重ねて意識化を図ります。



集会の「はあとふる」の意味を英語の得意な多治見先生に発音と共に解説してもらいました。



今回のゲストは、生徒指導部の先生方。校内・校外生活のマナーにかかわる話を劇仕立てで紹介してくれました。

マナーを守る 実践力UP（集会後の学級での道徳）



集会の後、各学級で自分が守っていたマナーやこれから守った方が良いマナーについて「わたしたちの道徳」に書き込みながら学習しました。子ども達は真剣な表情。先生方の熱い指導が、子ども達の心に響きますように!!

STEP 3 みんなと生きる（全校集会 → 学級での道徳）

10月24日
（金）1校時

この2つのステップの後には、道徳や集会で学んできたルールやマナーを守ることで、社会生活とのつながりについて考えます。今、学校で学んでいることと将来を結び付けてとらえさせることが目的です。これによって、子ども達に学ぶことの価値と意味を理解させ、自分の将来を思い描きながら学ぶキャリア発達を促します。

次回の集会では、各学年の道徳担当の先生方と担外・特支から1名ずつ、ゲストティーチャーとして協力をお願いします。